



1 穂波東校小中合同研

2月14日（金）15：30より穂波東校の小学部・中学部の全ての先生方が参加して本年度の穂波東校小中合同研のまとめを行いました。

本年度は、【生きて働く9年間の教育活動プラン】を目指して研究を進めました。その第一歩として、これまでの「9年間の教育活動プラン」を刷新しました。最大の特徴は、9年間プランの中に「前・中・後の各期における課題」を加え、更にその中で小中が力を合わせて取り組まない限り解決しそうでない課題を「**小中重点課題**」として明記したことです。

令和元年度 穂波東校「小中重点課題」

- 1 活学力の育成（「全国学テの活学力を問う問題」において小中ともに全国平均以上）
- 2 不登校児童生徒の減少

そして、4つの部会を立ち上げ、1年間研究を進め、次のような成果等を得ました。（要点のみ記述）

学力向上部会Ⅰ

成果：「穂波東校授業スタンダード」の作成。
課題：「穂波東校授業スタンダード」の活用。
・全職員がその意義等の理解を深める。
・全学級に掲示し、日常的に活用する。

生徒指導部会Ⅰ

成果：「穂波東校アクション3」の作成と活用。
課題：「穂波東校アクション3」の取組の充実。
・職員の意識化の向上と取組の徹底。
・欠席黒板、家庭連絡票等の小中の共通化。

学力向上部会Ⅱ

成果：「穂波東校 協調学習授業観察シート」の作成と活用。
課題：「授業観察シート」の改良。
・1年生から9年生まで同じように活用できるシートの開発。

生徒指導部会Ⅱ

成果：不登校対応「穂波東校引き継ぎシート」の作成。
課題：不登校対応「穂波東校引き継ぎシート」の活用。
・年度末にデータを入力する。

本年度も何かと大変忙しい1年間でしたが、その中で良く研究を進めていただき、本当にありがとうございました。本年度の成果等を次年度に繋げ、更なる「小中重点課題」の解決を図るとともに、この穂波東校の小中一貫教育の取組を全国サミットで発信していきたいと思えます。

2 小中一貫教育全国サミット：研究テーマ（速報）

来年度、飯塚市で開催される小中一貫教育全国サミットの研究テーマについてお知らせします。

飯塚市の研究テーマ

未来を切り拓く資質・能力を育成する小中一貫教育の創造

～9か年の連続性のある「学び」「育ち」を追求した教育活動を通して～

この飯塚市のテーマを受け、穂波東校の研究テーマ（案）は次の通りです。

穂波東校研究テーマ（案）

「社会を生き抜く力の根っこ」を育てる小中一貫教育の創造

～穂波東校「9年間の教育活動プラン」を通して～

この穂波東校の研究テーマ（案）についてのご意見等は、経営部までお願いします。最終的に市教委主催「小中一貫教育全国サミット連絡協議会」で審議され、決定されます。